

## 第52回臨時大会アピール(案)

08 春闘がスタートを切りました。

私たちを取り巻く情勢は、年金・高齢者医療などの社会保障改悪が高齢者の暮らしを直撃し、年収 200 万円以下の労働者が 1 千万人を超え、格差と貧困の拡大が社会問題化となりました。この悪政に対して昨年 7 月の参議院選挙では、国民は自公政治に「NO」の審判を下しました。

薬害肝炎のたたかいは被害者救済法案が参院本会議で全会一致で可決・成立、障害者自立支援法の見直し、高齢者医療制度の一部凍結、教科書検定問題での 11 万 6 千人による沖縄県民集会の成功、米軍基地機能強化に反対する運動、テロ特措法の期限切れによる自衛隊のインド洋からの撤退など、国民の怒りが大きく広がり、世論と運動の中で国会を動かせる時代がきました。また、「トヨタ内野過労死裁判」では、QC 活動を残業代として認める画期的な判決でトヨタを断罪しました。

与野党議席の逆転と私たちの運動によって、今、政治を変える絶好のチャンスを迎えています。

2007 年 7 月通常国会で増員署名が採択され、地方自治体決議など前進し、医師・看護師ふやせ、地域医療を守れの声はいっそう広がっています。大幅増員闘争は 3 年目を迎え、新たな 100 万筆署名は、4 月までに県医労連 10 万筆目標を達成し、何としても通常国会での看護職員確保法・基本指針改正の国会決議で財政措置と予算措置を勝ち取りましょう。介護の運動では、14 年ぶりに福祉人材確保指針が見直され、他産業に比べ大幅な低賃金と劣悪な処遇が社会問題化されています。介護労働者が主人公となる運動を起こし、09 年介護報酬改善を勝ち取りましょう。

私たちはかけがえのないいのち、その人らしい人生を生かす重要な仕事をしています。職場の要求を原動力に、賃金アップ・大幅増員・労働条件改善で働き続けられる職場づくりに全力をあげ、すべての組織で仲間を広げながら要求実現をしましょう。愛知県医労連過去最高現勢(10,695 名)を超える 160 名増勢を何としても達成させ、7 月大会までに 1 万 2 千名組織を実現しましょう。

国公立・公的医療機関の統合・合理化、療養病床削減により地域医療崩壊の加速、「医療費制度改革法」による患者負担引き上げや後期高齢者医療制度など、医療費の大幅抑制が強められ生活基盤の弱い高齢者の生存権が脅かされています。日本医労連産別に結集して、国民と社保協などとの共同でいのちの格差を許さない、地域医療を守るために全力でたたかきましょう。

戦争への道を開く憲法改悪を許さず、「膨大な軍事費を削減しくらしに回せ」の声を広げましょう。解散、総選挙で国民主権の政治の転換をはかりましょう。

“いま、変えるとき”。愛知県医労連 1 万 5 百名が、団結してがんばろう。

以上、アピールとします。

2008 年 1 月 20 日

第 52 回愛知県医療介護福祉労働組合連合会臨時大会